



# JAPANESE JOURNAL OF MATHEMATICS

JJMは2005年の存続の危機を乗り越え、継続して出版されることになりました。2006年より3rd Seriesを創刊、最高レベルのサーベイを出版する国際学術誌(年2回発行)として生まれ変わりました。

5周年を経た2011年、トムソン・ロイター社は5年インパクト・ファクター(2010)でJJMが世界の数学の対象ジャーナル全277誌の中で12位と発表しました。

JJMの5年インパクトファクター : 1.786

## Editors

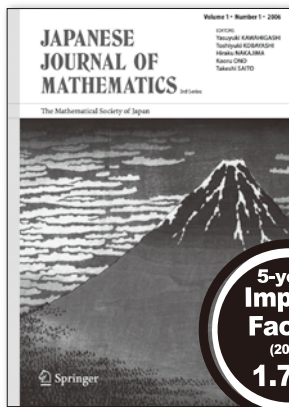
小野 薫 (京都大学数理解析研究所)

河東泰之 (東京大学)

小林俊行 (東京大学/Kavli IPMU)

斎藤 毅 (東京大学)

中島 啓 (京都大学数理解析研究所)



最新号(2013年第8巻2号)を紹介します。

R. ザイリンガー (高木レクチャラー)

『冷たい気体のホットなトピックス - 数理物理的視点』

**Abstract** 近年得られた希薄量子気体の低温性質に関する数学的結果の概観を示す。それには、ボース・アインシュタイン凝縮の議論、回転系における量子渦の出現や、捕獲ガスの励起スペクトルとその超流動との関係を含む。これらの性質はすべて、低温原子気体に関する現在の実験で集中的に研究されている。もとなる多体シュレーディンガー方程式から始めて、これらの現象の理解にかかわる数学を記述する。

\* \* \*

A. デソーレ, V.G. カッツ

『非局所ポアソン構造と可積分系の理論への応用』

**Abstract** 非可換ポアソン頂点代数の概念の上に築かれた非可換ポアソン構造の厳密な理論を展開する。応用として、可積分性のレナード・マグリ・スキームが、両立する非可換ポアソン構造のペアに適用できることを保証する条件を得る。このスキームをそのような多くのペアに適用し、各種の発展方程式および放物型方程式の可積分性を証明する。

図書委員の先生方へ: 新規購読をおすすめします。

【連絡先】〒110-0016 東京都台東区台東1-34-8 一般社団法人 日本数学会 Fax: 03-3835-3485  
年2回発行 ISSN: 0289-2316 (冊子版) ISSN: 1861-3624 (電子版) 年間購読料 ¥25,000 + 税 / EUR198.00

彌永昌吉先生が100歳で発表された書き下ろしや、アーノルド等の特別寄稿を掲載した創刊号から、スメイルやリオンス(2-1号)、コンツェビッチ(4-1号)、コンヌ(6-1号)の書き下ろしを掲載した各号、最新号も冊子単位で購入できます。会員割引 ¥7500+税/冊子 もあります。

広く一般の会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。



一般社団法人 日本数学会

投稿規定は <http://www.springer.jp/JJM/>